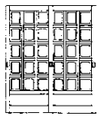
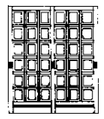
新日軽

超高級玄関引戸　飛(ひかく)鶴　障子取扱い説明書

取説番号 MI-13 改－①

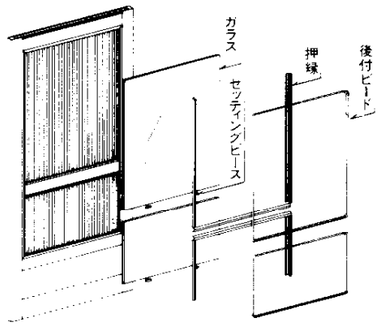
A 障子規格表とガラス寸法

（単位：mm）

名称(略称)			腰付千本格子(Aタイプ)	腰付井桁格子(Cタイプ)	腰無千本格子(Dタイプ)	腰無井桁格子(Fタイプ)	腰無万本格子(Jタイプ)	障子寸法
姿図								DH×DW
関東間 入隅 W:1650	規格記号	マンバー色	52XSA1619	52XSC1619	52XSD1619	52XSF1619	52XSJ1619	1925×839
		こはく色	52CSA1619	52CSC1619	52CSD1619	52CSF1619	52CSJ1619	
	ガラス寸法 寸法×枚数		①909×653×2 ②409×653×2	（ガラス入完成品） ①229.6×175.6×30	①901.5×653×2 ②545.5×653×2	（ガラス入完成品） ①204.9×175.6×36	①1548×653×2	
関東間 6尺 W:1696	規格記号	マンバー色	52XSA1719	52XSC1719	52XSD1719	52XSF1719	52XSJ1719	1925×862
		こはく色	52CSA1719	52CSC1719	52CSD1719	52CSF1719	52CSJ1719	
	ガラス寸法 寸法×枚数		①909×676×2 ②409×676×2	（ガラス入完成品） ①229.6×183.3×30	①901.5×676×2 ②545.5×676×2	（ガラス入完成品） ①204.9×183.3×36	①1548×676×2	
関西間 6.3尺 W:1906	規格記号	マンバー色	52XSA1919	52XSC1919	52XSD1919	52XSF1919	52XSJ1919	1925×967
		こはく色	52CSA1919	52CSC1919	52CSD1919	52CSF1919	52CSJ1919	
	ガラス寸法 寸法×枚数		①909×781×2 ②409×781×2	（ガラス入完成品） ①229.6×218.3×30	①901.5×781×2 ②545.5×781×2	（ガラス入完成品） ①204.9×218.3×36	①1548×781×2	
四国・九州間 6.125尺 W:1854	規格記号	マンバー色	52XSAK1819	52XSCK1819	52XSDK1819	52XSFK1819	52XSJK1819	1925×914
		こはく色	52CSAK1819	52CSCK1819	52CSDK1819	52CSFK1819	52CSJK1819	
	ガラス寸法 寸法×枚数		①909×728×2 ②409×728×2	（ガラス入完成品） ①229.6×200.6×30	①901.5×728×2 ②545.5×728×2	（ガラス入完成品） ①204.9×200.6×36	①1548×728×2	

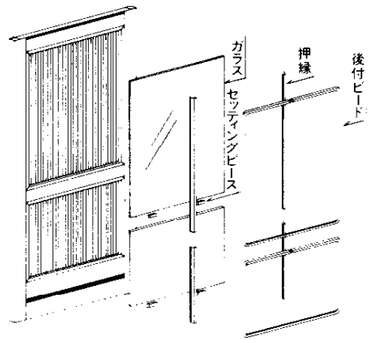
B 障子のガラスの入れ方

1. 腰付千本格子(Aタイプ)



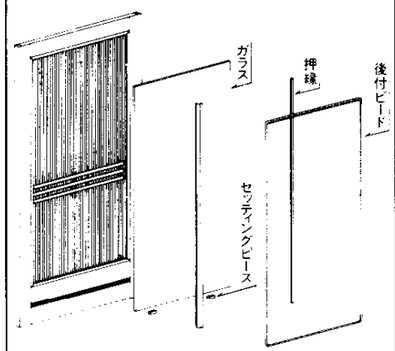
(1)押縁を外してください。押縁は、両側および上下の三方押縁になっています。
（セッティングピースは外さなくてよい）
(2)ガラスを納めてください。
(3)押縁を入れてください。
(4)同梱の後付ビード(3～4㎜用、B 0 9621)で、ガラスを固定してください。

2. 腰無千本格子(Dタイプ)



(1)押縁を外してください。押縁は、両側、二方押縁になっています。
（セッティングピースは外さなくてよい）
(2)ガラスを上下に動かし、納めてください。
(3)押縁を入れてください。
(4)同梱の後付ビード(3～4㎜、B 0 9621)で、ガラスを固定してください。

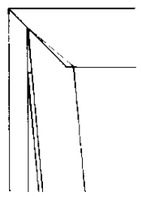
3. 腰無万本格子(Jタイプ)



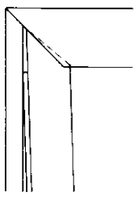
(1)押縁を外してください。押縁は、両側、二方押縁になっています。
（セッティングピースは外さなくてよい）
(2)ガラスを上下に動かし、納めてください。
(3)押縁を入れてください。
(4)同梱の後付ビード(3～4㎜、B 0 9621)で、ガラスを固定してください。

D 45°押縁の入れ方

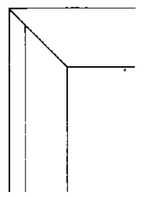
(1)押縁の一方の角度切断部を化粧額に差し込み順にはめ込んでください。



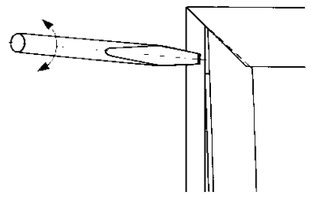
(2)化粧額に押縁を全部納めてください。(このときは、トメ部はそろってなくてもよい)



(3)左右のコーナー部の面を合わせてください。



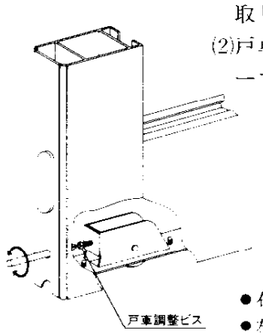
押縁を外すときは、押縁をガラス方向に落し込み、押縁端部の切欠部に⊖ドライバーの先端を差し込み、左右にこじるように反転させると簡単に外れます。



C 建付調整

1. 戸車調整

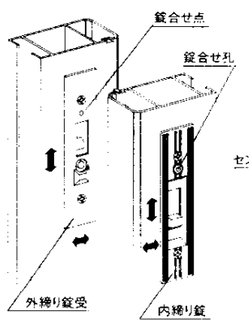
(1)下方のバンパー(穴隠し)を取り外してください。
(2)戸車調整ビスを⊕ドライバーで回して調整します。

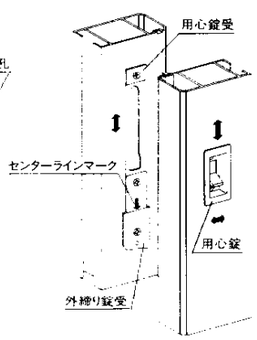


- 右へ回すと障子が上がります。
- 左へ回すと障子が下がります。

2. 内外締り錠、用心錠の調整

- 建付調整して錠および用心棒の掛かりが悪くなった場合、用心錠、召し合せ錠の取付けビスをゆるめ、錠合せ孔の⊕の印の中心と外締り錠合せ点とが合うように調整ビスで締め付け、用心錠を召し合せ錠のバックプレート上面に乗せてセットしてください。(その際▽マークを中心に合せて下さい)



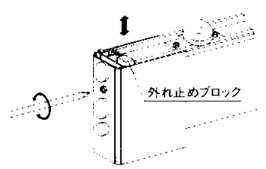


- 内締り錠で調整ができない場合は、外締り錠を移動させて、あらためて内締り錠で調整してください。
- 錠合せ孔に鍵の動きを明示する作動板(橙色)がついていますから板が孔を完全にふさぐように調整してください。

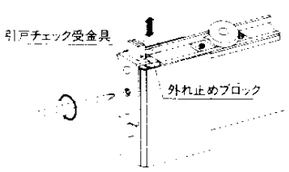
3. 操作時の注意

- 用心錠の施錠は障子を確実に閉めたことを確認してツマミを上方向に作動させてください。(赤丸シールが表示されます)。障子は乱暴に開けないでください。障子は約80㎜程開きます。
- 解錠はツマミを下方向に作動させて障子を一度閉めてから開けてください。
- 内外錠の施錠はキーが最後まで確実に差し込んで右回転し、キー回転は止まるまで回転してください。
施錠は右回転、解錠は左回転。

4. 外れ止めブロックの作動



- 内外召し合せ框には、障子外れ止めのブロックが取付けてあります。
- 障子建込み後、また戸車調整後、⊖ドライバーで外れ止めブロックを上げてください。
  - ⊖ドライバーを押しながら左に回すとブロックが上がります。
  - ⊖ドライバーを押しながら右に回すとブロックが下がります。



- 防犯上必要ですから必ず外れ止めブロックを上げておいてください。

※障子を外すときはブロックを下げて下さい。